

【四谷まち歩き】実施報告書

まち歩き タイトル	南寺町めぐり
開催日	平成23年 4月 30日 (土)
開催時間	集合午前10:00～解散12:30 (※12:00予定)
参加人数	区民11名、職員2名
その他 備考等	

予定時間	場所	到着時間	説明所要時間等
集合 10:00	消防博物館1階入口	出発時間	注意事項等6分
	田宮稻荷神社	10:19 10:27	説明 ①3分+②5分
	戒行寺	10:32 10:39	説明 約6分
	宗福寺	10:41 10:50	説明 約7分
	西應寺	10:54 11:02	説明 約4分
11:00 (予定)	勝興寺	11:05 11:13	説明 約6分
	須賀神社	11:15 11:39	トイレ休憩5分 説明①社殿 約9分 ②三十六歌仙約15分
	愛染院	11:43 11:51	説明 6分
	東福寺	11:53 11:58	説明 2分
解散 12:00	西念寺	12:02 解散 12:30	説明①約10分 槍の見学、説明 約10分

<p>振返りの会 5月11日(水) 13:00 四谷特別出張所会議室 出席者 区民5名 レガス観光課職員1名 出張所職員1名</p>	
<p>よかったと思える点</p>	<p>○ほぼ、予定時間通りだった。少々長引いても研修中なのでよいと思う。 ○説明はわかりやすくよかった。 ○途中、外来者(観光)のまち歩きの方が本会の説明を(研修中とお断り)の上で聞いていただけてよかった。</p>
<p>課題と感ずる点 気づいた点</p>	<p>○寺社施設等の見学は事前に見学する旨をご連絡していた方がよい。 お墓に多くの方が(観光名所として)入ることを配慮することが必要。 →歴史博物館では墓まで入らずに入口付近で説明することもある。 ○狭く細い路地等ではスピーカーの音が反響してしまう。ご近所の方にご迷惑がかからないよう配慮したい。</p>
<p>今後のまち歩きについてヒント</p>	<p>○戒行寺に行く前に「かつらや」さんの紹介をしてはいかがか? 事前にお断りして作業所前で写真(スライド)で説明してはいかがか。 ○西念寺を出発とした(笹寺終点)稚児行列(4月8日)を見学するのもよいと思う。(車道を通る行列、神輿などの見学には道路の誘導が必要。ルールきめを事前にしっかり決定しておくことが必要) ○人物像は説明が必要、辞世の状況の説明も織り交ぜると、より人物像がわかりやすいと思う。 ○「四谷お宝さがし」で発掘された昭和初期の須賀神社祭礼の映像を境内で見ると感慨深いのではないか。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>○今回のペースで、配慮すべき点に気を付けながらまち歩きを実行する。</p>
<p>歴史博物館ガイドボランティアのアドバイス</p>	<p>○文化財表示があっても見学を断られることがある。事前のお寺側の意向を尊重し、事前のお断りをしたほうがよい。場合によってはお布施(3,000円程度)をお渡しすることもある。</p>
<p>次回のまち歩きについて</p>	<p>「荒木町界限」5月21日(土) 10:00~12:00 ○すり鉢の形状をした独特の地形を体感する。 参考資料「タモリ倶楽部」日本すり鉢学会編のビデオ ○江戸城防備目的の道の作り、むちの池、車力門横丁等の説明 ○三業地(お座敷遊び)→四谷学で作成したDVDを編集し説明材料にさせていただいてもよいのではないか。 ○荒木町を愛した作家、戦前戦後の文人を紹介する。</p>
<p>次回の打ち合わせ</p>	<p>6月1日(水) 14:00~ 四谷特別出張所会議室 ○7月に開催予定 仮称「江戸四谷の謎を探る」歴史博物館と語る会について※別紙参照 ○観光まちづくり実行委員募集について</p>

※以下歴史博物館への提案

仮称「江戸四谷の謎を探る」歴史博物館と語る会について（案）

準備会委員長

○ 形式

歴史博物館の施設見学と、学芸員と代表委員によるパネルディスカッション形式の観光まちづくりの視点から見た「江戸四谷の謎を探る」講演会

○ 対象 地域住民向けの講座＝地区協・町連・一般への周知

○ 開催希望日・時間

7月中 できれば週末。無理であれば平日

午後2時～4時 もしくは、午前10時～12時・午後6時～8時も検討可

○ ディスカッション内容の焦点

「江戸四谷の謎」 3回の四谷まち歩きの実施を終えて感じた疑問

質問案

- ① 寛永13年完成の江戸城外堀天下普請によって四谷の街並の基礎が出来たといわれる。その都市計画は誰によってどのような意図を持って行われたのか。
江戸城防衛・将軍の退路甲州街道（八王子仙人同心などもあるが四谷は）・寺社・武家・町屋の配置・伊賀衆の町・美濃高洲松平摂津の守邸のむちの池は防衛施設としてのダムか。
- ② 四谷の伊賀衆はどのような仕事をしていたのか。その暮らしは。今にも残るその面影は。
- ③ 四谷塩町一丁目の人別帳が江戸に残る数少ない市民の資料と言われているが、その意義とそこから見る人々の暮らしとは。
- ④ 荒木町界隈の古地図には車力門横丁の記載が残る。地元説では荷車の搬入門からではとあるが、美濃高洲松平家の先祖にあたる保科正之は清和源氏の末裔（藩翰譜）で門に置かれた御所車の副紋が名の由来ではとの説をあげて議論しているが、どちらの説が有力でしょうか。